



2025年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年6月11日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム 上場取引所 東
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>
代表者(役職名) 代表取締役会長(氏名) 澤田 秀太
問合せ先責任者(役職名) 上級執行役員経営企画部長(氏名) 国門 量祐 TEL 03-5312-6247
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第3四半期の連結業績(2024年8月1日~2025年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第3四半期	1,566	△22.6	△39	—	△50	—	△53	—
2024年7月期第3四半期	2,023	184.4	43	—	55	—	36	—

(注) 包括利益 2025年7月期第3四半期 △54百万円(—%) 2024年7月期第3四半期 39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第3四半期	△35.65	—
2024年7月期第3四半期	25.45	24.07

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期第3四半期	4,396	1,081	24.4
2024年7月期	2,869	1,151	40.0

(参考) 自己資本 2025年7月期第3四半期 1,074百万円 2024年7月期 1,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年7月期	—	0.00	—	—	—
2025年7月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の連結業績予想(2024年8月1日~2025年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	2,300 ~2,500	△26.7 ~△20.3	75 ~100	△71.6 ~△62.1	70 ~100	△74.9 ~△64.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年7月期3Q	1,523,500株	2024年7月期	1,521,200株
2025年7月期3Q	13,786株	2024年7月期	13,786株
2025年7月期3Q	1,508,347株	2024年7月期3Q	1,448,285株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、2025年1—3月期の実質GDPが、季調済前期比年率 $\Delta 0.7\%$ （前期比 $\Delta 0.2\%$ ）と、4四半期ぶりにマイナス成長へと転じました。個人消費の弱さや輸出の鈍化が影響したものの、先行きについては、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、所得から支出への前向きな循環が徐々に強まっていくとの見方も示されており、内需を中心に緩やかな回復が見込まれております。一方で、米欧の金利政策の先行き不透明感、中国経済の減速傾向、中東・ウクライナ情勢など、海外情勢に起因する不安定要素も引き続き多数存在しております。

このような状況のもと、当社グループはMSCベリッシマ、ノルウェージャンスピリット、ダイヤモンド・プリンセス等のゴールデンウィークに催行されたクルーズの販促や、6月上旬に当社が単独でチャーターしたコスタセレーナ金沢発着クルーズの販促、創業20周年イベントとしての大規模キャンペーンの実施等を行ってまいりました。日本発着外国船の運航が再開されてから2年が経ち、ゴールデンウィークに運航するクルーズの本数が増えてきている中、より多くのお客様のご予約を取り込むべく販促に注力してきました。6月にチャーターするコスタセレーナについては、北陸地方でのテレビCMや新聞広告の他に、日本各地でセミナーを開催し、多数のお客様にご参加いただきました。また、当社は、今年9月に20周年を迎えるため、「20周年キャンペーン」と称して、国内発着クルーズ・海外発着クルーズ問わず、大幅な割引やお得な特典を付けたクルーズ旅行を提供しておりました。その結果として、4月の予約受注額が同じ月としての過去最高を更新いたしました。一方、ゴールデンウィーク運航のクルーズにおいて、複数コースでまとまった数のキャビンを買取りし販売を進めてまいりましたが、外部環境の影響や日並びの悪さにより販売が伸び悩み、収益を圧迫する要因となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,566,553千円（前年同期比22.6%減）、営業損失は39,779千円（前年同四半期は43,003千円の営業利益）、経常損失は50,377千円（前年同四半期は55,808千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は53,776千円（前年同四半期は36,853千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて1,527,592千円増加し、4,396,875千円となりました。これは主に、現金及び預金が872,584千円、旅行前払金が646,624千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて1,597,390千円増加し、3,315,550千円となりました。これは主に、長期借入金が1,007,246千円、契約負債が398,359千円、1年以内返済長期借入金が256,514千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて69,797千円減少し、1,081,325千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が76,387千円減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年9月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年6月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,602,898	2,475,483
旅行前払金	430,380	1,077,005
未収入金	147,795	130,222
その他	111,504	152,198
流動資産合計	2,292,578	3,834,910
固定資産		
有形固定資産	136,056	133,539
無形固定資産		
のれん	32,935	30,174
その他	92,816	94,635
無形固定資産合計	125,751	124,810
投資その他の資産	312,477	301,430
固定資産合計	574,286	559,780
繰延資産	2,418	2,185
資産合計	2,869,283	4,396,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	245,908	502,422
未払金	37,731	18,508
未払法人税等	45,787	1,746
賞与引当金	-	2,546
役員賞与引当金	-	1,312
契約負債	611,812	1,010,172
その他	22,901	17,542
流動負債合計	964,141	1,554,249
固定負債		
長期借入金	742,823	1,750,069
その他	11,194	11,231
固定負債合計	754,018	1,761,301
負債合計	1,718,160	3,315,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	567,402	569,370
資本剰余金	483,902	485,870
利益剰余金	132,618	56,230
自己株式	△35,280	△35,280
株主資本合計	1,148,642	1,076,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,341	△1,649
その他の包括利益累計額合計	△1,341	△1,649
新株予約権	3,822	6,784
純資産合計	1,151,122	1,081,325
負債純資産合計	2,869,283	4,396,875

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
売上高	2,023,642	1,566,553
売上原価	1,631,871	1,272,033
売上総利益	391,771	294,519
販売費及び一般管理費	348,767	334,299
営業利益又は営業損失(△)	43,003	△39,779
営業外収益		
受取利息	1,389	1,969
為替差益	11,848	—
受取配当金	0	0
投資有価証券償還益	—	172
補助金収入	8,340	—
ポイント収入額	1,555	1,991
その他	90	189
営業外収益合計	23,225	4,323
営業外費用		
支払利息	5,764	9,143
為替差損	—	33
新株予約権発行費償却	1,882	1,244
投資事業組合運用損	1,051	4,500
投資有価証券償還損	1,722	—
営業外費用合計	10,420	14,921
経常利益又は経常損失(△)	55,808	△50,377
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	55,808	△50,377
法人税等	18,954	3,399
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,853	△53,776
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	36,853	△53,776

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,853	△53,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,178	△308
その他の包括利益合計	2,178	△308
四半期包括利益	39,032	△54,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,032	△54,084
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	13,857千円	14,269千円
のれん償却費	2,760千円	2,760千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。